

プロフィール



名前	谷田 孝志
所属部署	北海道大学獣医学研究院 繁殖学教室
職種	助教
この研究室に入った日	2025年4月
出身地	石川県野々市市
趣味	縁起物集め、 博物館・美術館見学

インタビュー

Q1 現在の研究内容を教えてください。

牛の精漿中に含まれるタンパク質であるオステオポンチンやその部分ペプチドは、子宮内ではなく腔内に投与されることで子宮のサイトカインや増殖因子の発現を調節し、牛の受胎性を向上させます。では、なぜ腔内に投与する必要があるのでしょうか？また、腔の機能は他の生殖器の機能や受胎性と常に関連しているのでしょうか？今までほとんど着目されてこなかった腔機能に焦点を当てた研究について、牛を中心に行っています。

Q2 研究者を志したきっかけは？

獣医師として働いてるうちに、牛の低受胎という問題に何かしら貢献できる仕事がしたいと思ったことが研究の道にすすもうと思ったきっかけかと思います。

Q3 学生へのメッセージ

私もまだまだ未熟ですのであまり偉そうなことは言えませんが、ぜひ幅広い視点と興味をもって研究していただければと思います。